

## 北区自治協議会 部会会議概要

地域づくり部会 . . . . . p. 1

福祉教育部会 . . . . . p. 2-3

自然文化部会 . . . . . p. 4



## 第 16 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	平成 30 年 9 月 20 日（木曜） 午後 2 時 50 分から午後 3 時 30 分
会 場	北地区コミュニティセンター 和室 1
出席委員	本間（久） 部会長、阿部（恵） 副部会長、阿部（康） 委員、倉島会長、五十嵐（隆） 委員、阿部（淳） 委員、山賀委員、小林委員
欠席委員	本間（藤） 委員、上松委員、川島委員
事務局 関係課	建設課長、産業振興課長、区民生活課長補佐、地域総務課（清水、中川、高野）
会 議 要 旨	<p><b>1 平成 31 年度自治協議会提案事業について</b></p> <p>先回の部会の意見を取りまとめた資料を確認し、部会としての意見とすることで了承が得られました。</p> <p><b>2 平成 30 年度自治協議会提案事業について</b></p> <p>「ノーザン ミュージック フェスティバル 2018」について</p> <p>阿部（淳）委員および事務局から、主な報告と情報交換を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児もホールステージへの入場を可とした。授乳室や保育室を開放し、利用していただく。</li> <li>・ホールステージの入場券の配布はほぼ終了。</li> <li>・当日のスタッフは新潟柔整専門学校（学生ボランティア 11 人と北青年会議所 20 人、産業振興課職員 4 人）で対応。</li> <li>・駐車場の警備はメイクスジャパン（北区）への委託。</li> <li>・北区文化会館ロビーにモニターやスピーカを置き、中の様子が見られるようにする。</li> <li>・各アーティストの物販などもある。</li> <li>・アンケートを当日配付する。項目は実行委員会で相談する予定。</li> <li>・飲食ブースは 5 店舗。その他、海辺の森 BBQ、バッチ作りのワークショップ、ミニ四駆（第 1 練習室）など。</li> <li>・周辺自治会に配布したワンドリンク券は、ペットボトルと交換。</li> <li>・26 日（水）、実行委員会で最終打ち合わせを行う。</li> </ul>

## 第 16 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	平成 30 年 9 月 20 日 (木) 午後 2 時 50 分～午後 3 時 55 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 1
出席委員	渡邊 (正之) 部会長、梅津副部会長、五十嵐 (紀子) 委員、工藤委員、曾我委員、高橋委員、真壁委員、村中委員
欠席委員	若月委員、岡委員
事務局 関係課	健康福祉課長、豊栄地区公民館 (荒木主幹)、北区教育支援センター所長、北出張所長、地域総務課 (本田、吉澤、大久保、佐藤)
会議要旨	<p><b>1 平成 30 年度自治協議会提案事業「区民の一体感醸成プロジェクトーみんなの区役所づくりー」について</b></p> <p>事務局より、進捗状況の報告を行いました。</p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域総務課にて、ワークショップメンバーの選出団体等を検討している。また、北区役所だより (9/16 号) にて公募メンバーも募集している。部会委員にも積極的にメンバーの推薦や紹介をお願いしたい。</li> <li>・ワークショップの開催時間が夜間とあるが、可能な限り小中学生等の意見も取り入れてほしい。</li> <li>・年代の異なる人同士に話し合ってもらうのは面白い取組みになると思う。</li> <li>・学校へ出向いて意見を聞くのも効果的では。</li> <li>・当事業は単年度事業のため、子どもをメンバーに追加するのは、時間的制約上、難しい面がある。次年度以降の事業のなかで取り入れることを検討したい。</li> <li>・くだけた雰囲気の中で実施されるべき。地場産の食品等、軽食を出してみるのもよいと思う。</li> <li>・メンバー同士が、なるべくフラットな関係性のなかで話し合える環境が必要。役職名や肩書きにこだわらないワークショップにしてほしい。</li> <li>・結論を出すことを目的とするワークショップではないことを再度確認したい。多様な意見を出し合える場をつくるのが大切だ。</li> </ul> <p><b>2 平成 31 年度特色ある区づくり事業について</b></p> <p>事務局より、検討状況の報告を行いました。</p> <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「つながりサロンの設置」、「高齢者等の健康診断時における健康指導の実施」、「健康づくりリーダーの育成」について (本間久文委員提案分)</li> <li>・健康福祉課としても、高齢者が地域内で生きがいをもって活躍できる場をつくることは大切だと認識している。</li> <li>・秋葉区では新潟薬科大学と地域が積極的に連携している。秋葉区の事例を踏まえて、北区でも新潟医療福祉大学と情報交換を行い、連携について</li> </ul>

検討していきたい。

- 「元気な高齢者の生きがい事業」について（若月委員提案分）
  - ・市としては、「地域の茶の間」等の自主運営を支援している。
  - ・地域の自主的な活動を促す方向にあるため、実現は難しいと思う。既存事業の中で検討してはどうか。
  
- 「定期健診時のママ・パパ応援講座」について（梅津委員提案分）
  - ・健康福祉課としては、テキスト作成を優先して、伝え方は同時並行的に検討したい。
  - ・8月6日の健診を視察した際、時間を工夫すれば講座を開催できるのではないかと思った。
  - ・中高生の7人に1人はスマホ依存だとする新聞報道があった。
  - ・子どもの脳の発達を考えると、スマホだけでなく様々な体験をさせてあげてほしい。
  - ・部会として、当事業に概ね賛成。是非実現させたい。
  - ・健康福祉課内で、保健師と実現可能性について検討していきたい。

### 3 第2回教育ミーティングについて

事務局より、開催日程とテーマ設定について報告を行いました。

→11月15日午後3時～4時半開催する予定になりました。また、テーマは次回の部会で検討することになりました。

[主な意見]

- ・現場の声を聴くことが何より重要だと思う。現場の先生にはぜひ出席してもらいたい。
- ・各小学校ではゲームやインターネットに依存する危険性について、年1回プロによる指導がある。しかし、これでは少なすぎると思う。当ミーティングで取り上げてもらいたい。
- ・感情をコントロールできない低学年が多いように感じる。ゲームやスマホのし過ぎが要因のひとつではないか。
- ・スマホ依存は予防が大切だと思うが、“依存”は病気として認識されることが前提として必要。対応は精神論で語られるべきでなく、慎重に取り組むべき。
- ・医師や養護教諭に来てもらうこともよいのではないか。
- ・テーマについては、「スマホ依存とどう向き合うか」など、より広い枠組みで議論できるようなものを設定するのがよいと思う。

## 第 17 回 自然文化部会 会議概要

日 時	平成 30 年 9 月 20 日（木曜） 午後 2 時 50 分～午後 3 時 30 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 2
出席委員	阿部（美）副部会長、赤間委員、松田委員、渡邊委員、内川委員、後藤委員、高口委員
欠席委員	若尾部会長、川居委員
事務局 関係課	産業振興課（西脇）、地域総務課（宇野、貝瀬、高田）
会議要旨	<p><b>1 イベント参加報告「福島潟の“河童のユウタ”に会おう」（8月19日）</b> 〔主な意見・確認事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが描いた河童の絵は、いろいろなものがあり、河童のイメージが固定化していないことが分かった。</li> <li>・原作が子どもたちにとってより親しみやすくなるように、紙芝居を制作したらどうかという提案をした。提案は好意的に受け止めてもらったものの、実際の制作は難しいということだった。</li> <li>・「ユウタの棲家」の絵について、参加者から、より多くの人に見せてあげたいという声が挙がっていた。</li> </ul> <p><b>2 平成 30 年度福島潟の魅力発信事業（『河童のユウタの冒険』関連）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原画者がその使用を許可してくれたので、「ビュー福島潟」に「ユウタの棲家」の絵や大きくプリントした布を展示、ポスターにして学校に配布しても良いのではないか。</li> <li>・「ユウタの棲家」の絵をクリアファイルに印刷し配布する案は、子どもたちの活用の仕方を考えると効果的とはいえない。</li> <li>・バッグに「ユウタの棲家」の絵をプリントして配布するなど、作品世界を身近に感じてもらうための工夫が欲しい。</li> <li>・本を学校に寄贈する件は、各学校の要望を確認して対応した方が良い。</li> </ul> <p><b>3 平成 31 年度自治協議会委員提案事業について</b> 来年度事業について、提案内容の確認と意見交換を行いました。</p> <p style="margin-left: 2em;">①福島潟のワイズユース検討事業 ②子どもたちの感性を育む音楽鑑賞事業</p> <p>〔主な意見〕</p> <p><b>②について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある小学校長に聞くと、ぜひ実施して欲しいということだった。りゅーとぴあで子どもたちのための音楽教室が開催されていた時は、会場が遠く難があったが、事業内容は有意義であった。その廃止を残念に思っていたので、有難いということだった。</li> <li>・プロの音楽家だけでなく、地元で活動するアマチュアの合唱や演奏も組み合わせると良いのではないか。</li> </ul>